

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|---|------------------------------------|-------------|----------------------|---------------|-----------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 | |
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154010 | 就労支援事業 | |
| 総合計画 | 分野 | しごと | | | | |
| | 政策 | 1-6 雇用環境の充実 | | | | |
| | 施策 | 1 職業人材の育成 | | | | |
| 目的 | 雇用の拡大 | | | | | |
| 対象 | 求職者、新規学卒者、高齢者、失業者 | | | | | |
| 意図 | 就業できる | | | | | |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | | |
| ○ジョブカフェはなまき運営費 14,731千円 求職者に対するキャリアカウンセリング、セミナー、講習会等の実施、求人情報の提供 ○シルバー人材センター事業補助金 15,539千円 ○花巻雇用開発協会負担金 774千円 ○U I J ターン者就業支援奨励金 10,500千円 U I J ターン者の就業と事業者への支援 ○首都圏向け情報提供 (U・I ターンフェア) 97千円 ○ジョブカフェ電話料、セミナー等案内郵送 300千円 | | | | | | |
| 市民参画の有無 【 対象外 】 | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | 共催 後援・協賛 | 実行委員会・協議会 ○ 補助・助成 | 事業協力・協定 委託 | | |
| 活動指標 (上記「事業概要」に対応) | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① | 就職ガイダンス開催回数 | 回 | 計画 | 3 | 3 | |
| | | | 実績 | 3 | 3 | |
| ② | シルバー人材センター受託事業件数 | 件 | 計画 | 5,000 | 5,000 | |
| | | | 実績 | 5,054 | 4,505 | |
| ③ | | | 計画 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標 (上記「意図」に対応) | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① | 就職ガイダンス参加者数 | 人 | 目標 | 300 | 250 | |
| | | | 実績 | 205 | 166 | |
| ② | シルバー人材センター会員数 | 人 | 目標 | 800 | 800 | |
| | | | 実績 | 671 | 642 | |
| ③ | U I J ターン奨励金を活用して市内に就職したU I J ターン者 | 人 | 目標 | 16 | 18 | |
| | | | 実績 | 10 | 16 | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | | 概ね目標値どおり | | ○ 目標値より低い | |

| | | |
|--|--|--|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | | |
| 有効求人倍率が高止まりしており、人手不足の状況が慢性的に続いていることから就職ガイダンスの参加者数は目標を下回る。 | | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない | 若年者のみならず、高齢者雇用も市が主体となって雇用拡大に取り組む必要がある。 |
| 有効性 | 成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない | PR活動、就職に関する情報等の提供、新規の受託事業の掘り起こし、独自事業の展開を継続することで、雇用拡大につなげて成果の向上を図る。 |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない | 必要最小限の事業費で運営しており、削減の余地はない。 |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である | 求職者すべてにおいて利活用可能な事業であるため、適正である。 |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | | |
| ジョブカフェはなまきの専門相談員によるキャリアカウンセリングの実施や求人情報の提供、就職ガイダンス等の開催によって、若年者の雇用確保が図られる。また、地域社会の活性化に寄与している花巻シルバー人材センターに対する支援によって、高齢者の雇用機会の拡大が図られる。さらに、雇用開発協会の事業を支援し、U I J ターン者の就業を奨励することにより、安定した雇用が図られることから、今後も継続した就労支援が必要である。 | | |

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業J-ド | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|--------|
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154010 | 就労支援事業 |

単位：千円

| | | 29年度 決算額(A) | 30年度 決算額(B) | 31年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------------------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 37,763 | 43,926 | | 6,163 |
| 財 源 内 訳 | 国・県 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 37,763 | 43,926 | | 6,163 |

※特定財源の内訳

| |
|--|
| |
|--|

| | | | |
|--|-----------------------------|------|-----------------|
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
| 部重点施策における目標 | | | |
| 雇用の確保や定着率の向上に加え、多様な働き方への支援を通じ、市内企業の雇用環境を充実します | | | |
| 事業開始の背景・経緯 | | | |
| 若年者の能力向上・就職促進を目的として、職場体験や職業紹介などの雇用に関連したサービスの提供を通じ、不景気による高い失業率を少しでも改善するとともに、高齢者等の勤労意欲や能力に応じた雇用の機会の創出、さらには多様な就業の機会の確保等を図る必要性があった | | | |
| 事業概要 | | | |
| ○ジョブカフェはなまき運営費 14,731千円 求職者に対するキャリアカウンセリング、セミナー、講習会等の実施、求人情報の提供 | | | |
| ○シルバー人材センター事業補助金 15,539千円 | | | |
| ○花巻雇用開発協会負担金 774千円 | | | |
| ○UIJターン者就業支援奨励金 10,500千円 UIJターン者の就業と事業者への支援 | | | |
| ○首都圏向け情報提供（U・Iターンフェア） 97千円 | | | |
| ○ジョブカフェ電話料、セミナー等案内郵送 300千円 | | | |
| 意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等） | | | |

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 中島 晴俊 内線 388 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

① ジョブカフェはなまき運営費 14,731千円

市 → 技術振興協会

【ジョブカフェ運営】
常勤（3人）のキャリアカウンセラーによる就労支援（県の就業支援員も2人常駐）
○場所：ビジネスインキュベータ内
○対象：原則として35歳未満の若年者を中心とした求職者
○主な支援内容：キャリアカウンセリング（就職相談）、面接対策・履歴書添削指導、セミナー開催、合同就職ガイダンスの開催等

② 花巻市シルバー人材センター事業補助金交付 15,539千円
国庫補助金の交付要件が「設置自治体で国庫補助額と同額以上を交付」であるため、国庫補助額と同額を交付。
(平成30年度当初予算 単位：千円)

| 補助メニュー | 国庫補助金 | 市補助金額 |
|---------------------|------------|------------|
| 高齢者就業機会確保事業等補助金 | 5,739,000 | 5,739,000 |
| 人件費 | 4,300,000 | 4,300,000 |
| 管理費 | 1,439,000 | 1,439,000 |
| 雇用開発支援事業費等補助金 | 9,800,000 | 9,800,000 |
| 高齢者雇活用・現役世代雇用サポート事業 | 5,800,000 | 5,800,000 |
| 地域就業機会創出・拡大事業 | 4,000,000 | 4,000,000 |
| 計 | 15,539,000 | 15,539,000 |

③ シルバーワークプラザ修繕 1,985千円
同施設の母屋及び車庫、倉庫の屋根の塗装を行う。
母屋は、平成18年度に、車庫、倉庫は供用後の屋根塗装の実施はなし。

④ 花巻雇用開発協会負担金交付 774千円
管内産業界が必要とする新規学卒者等の労働力確保と定着及び中高齢者の雇用安定促進と安全就労のために必要な事業を行い、福祉向上と産業の発展に寄与。

⑤ UIJターン者就業奨励金 10,500千円
UIJターン者の移住及び就業を奨励する目的で標記奨励金をUIJターン者本人及びその者を雇用した事業主に交付するもの。
・UIJターン者 @250千円×16人
・事業主 @500千円×13事業所

⑥ その他 397千円
9節 97千円 (岩手県U・Iターンフェア 東京 2回)
12節 300千円 (ジョブカフェ電話料、セミナー等案内郵送料)

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|---|-----------------------------|-------|------------|----------|----------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 | |
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154020 | 技能人材育成事業 | |
| 総合計画 | 分野 | しごと | | | | |
| | 政策 | 1-6 | 雇用環境の充実 | | | |
| | 施策 | 1 | 職業人材の育成 | | | |
| 目的 | 南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成、技術職の人材育成 | | | | | |
| 対象 | 南部杜氏協会の会員、技能職種の職業訓練を必要とする者 | | | | | |
| 意図 | 酒造技術が伝承され、技能職種人材の雇用促進が図られる | | | | | |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | | |
| ○酒造技術者育成支援 南部杜氏協会が実施する杜氏講習会及び杜氏後継者育成事業に係る事業補助 ○南部杜氏協会支部支援 南部杜氏協会支部に対する事業補助 ○花巻職業訓練協会支援 花巻職業訓練協会が実施する技能職種人材の育成に係る事業補助 ○職業訓練施設修繕 照明LED化及び外壁・屋根塗装 | | | | | | |
| 市民参画の有無 [対象外] | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | 共催 | 実行委員会・協議会 | 事業協力・協定 | | |
| | | 後援・協賛 | ○補助・助成 | 委託 | | |
| 活動指標 (上記「事業概要」に対応) | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① | 酒造大学修了生 | 人 | 計画 | 30 | 30 | |
| | | | 実績 | 27 | 28 | |
| ② | 長期訓練科目数 | 科目 | 計画 | 4 | 4 | |
| | | | 実績 | 5 | 5 | |
| ③ | | | 計画 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標 (上記「意図」に対応) | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① | 花巻市内の杜氏資格選考試験合格者数 | 人 | 目標 | 1 | 1 | |
| | | | 実績 | 0 | 1 | |
| ② | 長期訓練受講生 | 人 | 目標 | 20 | 20 | |
| | | | 実績 | 15 | 16 | |
| ③ | | | 目標 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | | ○ 概ね目標値どおり | 目標値より低い | | |

| | | |
|--|---|--|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | | |
| 花巻市内在住者1名が杜氏資格選考試験に合格し成果指標を達成した(花巻市内支部としては3名合格)。要因としては、酒造技術の育成、継承及び研鑽に係る酒造大学や夏季酒造講習会(長期訓練)を継続して実施してきた成果と考える。 花巻職業訓練校にかかる、長期訓練科目数の実績は5科目で前年比で横ばい。長期訓練受講生は未達ではあったものの、HPおよびチラシ等で周知が図られ前年比で1名の増加。 | | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない | 伝統的に継承されてきた日本酒の醸造技術の確保と継承者育成のため、また、ものづくりの基礎となる重要な分野での職業訓練であることから、市の関与が必要である。 |
| 有効性 | 成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない | 優れた南部杜氏の技術を継続的にPRし、後継者を発掘する。また、時代のニーズを注視し、職業科目を見直していくことで、訓練生のそうかを見込める。 |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない | 技能職の確保・育成の観点から現行の補助金水準の維持が必要であり、削減の余地はない。 |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である | 補助金の他は、会員の会費、事業主負担金で運営されており、受益機会は均等である。 |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | | |
| 南部杜氏協会への事業補助金交付や育成事業に対する支援によって、南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成が図られた。また、花巻職業訓練協会に対する事業補助金交付や施設修繕にかかる支援を通じ、職業能力開発の推進や地域産業を下支えする技能職種人材の育成が図られた。 | | |

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業J-T | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|----------|
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154020 | 技能人材育成事業 |

単位：千円

| | | 29年度 決算額(A) | 30年度 決算額(B) | 31年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------------------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 3,799 | 8,774 | | 4,975 |
| 財 源 内 訳 | 国・県 | | 1,142 | | 1,142 |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 3,799 | 7,632 | | 3,833 |

※特定財源の内訳

認定職業訓練費補助金（県補助金） 1,142千円

| | | | |
|------|-----------------------------|------|-----------------|
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|-----------------------------|------|-----------------|

部重点施策における目標

雇用の確保や定着率の向上に加え、多様な働き方への支援を通じ、市内企業の雇用環境を充実します

事業開始の背景・経緯

南部杜氏に関しては、「出稼ぎ相談事業」（国の補助事業）として実施し、職業訓練校に関しては、技能職種人材の育成を図るために開始された。

事業概要

- 酒造技術者育成支援
南部杜氏協会が実施する杜氏講習会及び杜氏後継者育成事業に係る事業補助
- 南部杜氏協会支部支援
南部杜氏協会支部に対する事業補助
- 花巻職業訓練協会支援
花巻職業訓練協会が実施する技能職種人材の育成に係る事業補助
- 職業訓練施設修繕
照明LED化及び外壁・屋根塗装

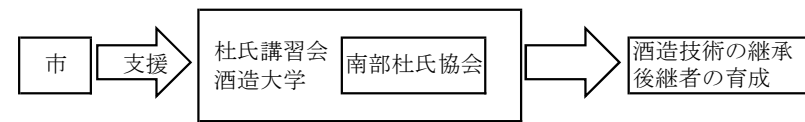
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 中島 晴俊 内線 388

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 1 酒造技術者育成事業補助金 670千円
酒造技術者の資質向上と南部杜氏後継者の育成のため一般社団法人南部杜氏協会が行う事業に対して補助金を交付した。
・杜氏講習会補助金 270千円
・杜氏後継者育成事業補助金 400千円
- 2 南部杜氏協会支部補助金 491千円
3支部（花巻109千円、大迫232千円、東和150千円）
南部杜氏の酒造技術の育成、継承及び研鑽と健康で安全な出稼ぎ就労に資するため一般社団法人南部杜氏協会の各支部の運営に対し補助金を交付した。



- 3 花巻職業訓練協会事業補助金 2,154千円
職業能力開発の推進、地域産業の下支えする技術職種人材の育成を図るため、中核的な役割を担う「花巻職業訓練校」に対し事業実施に係る必要経費の一部を支援した。
- 4 花巻市職業訓練施設照明修繕（LED化） 3,650千円
- 5 その他事務 1,809千円
11節 1,680千円（感謝状等消耗品、出稼ぎ労働者用市広報・市議会だより印刷製本費、経常修繕）
12節 129千円（広報等送付料、南部杜氏感謝状筆耕料）
各支所（花巻61、大迫45、東和6、石鳥谷17）

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|---|-------------------|-------------|--------------------|---------------|-------------------------------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 | |
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154050 | 職業人材育成事業 | |
| 総合計画 | 分野 | 暮らし | | | | |
| | 政策 | 1-6 | 雇用環境の充実 | | | |
| | 施策 | 1 | 職業人材の育成 | | | |
| 目的 | 雇用の拡大 | | | | | |
| 対象 | 求職者、新規学卒者、高齢者、失業者 | | | | | |
| 意図 | 就業できる | | | | | |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 関係機関等の連携体制の構築 <input type="checkbox"/> 合同研修事業 就職後3年目までの就業者を対象としたマナー、コミュニケーション能力向上等に関する研修会の開催 <input type="checkbox"/> 職業人材就業促進に向けた取組《新規》 高校、専門学校、大学の生徒、学生やその保護者及び教職員を対象としたマッチングや市内事業所見学などの実施 | | | | | | |
| 市民参画の有無 【 対象外 】 | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | 共催 後援・協賛 | 実行委員会・協議会 補助・助成 | 事業協力・協定 委託 | | |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① 合同研修事業の開催 | | 回 | 計画 | 1 | 1 | |
| | | | 実績 | 0 | 1 | |
| ② 市内事業所説明会の開催 | | 回 | 計画 | 1 | 1 | |
| | | | 実績 | 1 | 1 | |
| ③ | | | 計画 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① 合同研修事業参加者数 | | 人 | 目標 | 40 | 40 | |
| | | | 実績 | 0 | 30 | |
| ② 市内事業所説明会参加者数 | | 人 | 目標 | 350 | 300 | |
| | | | 実績 | 78 | 252 | |
| ③ | | | 目標 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | | 概ね目標値どおり | | <input type="radio"/> 目標値より低い | |

| | | |
|--|---|--|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | | |
| 就職支援に関する実績を持つ事業所に本事業を委託することができたため、市内高校生に対し有効的な事業所説明会を開催することができた。 特に高等学校から協力を得ることができたため多くの参加者を集めることができた。 合同研修事業についても同様に開催し参加者を集めることができたが、目標値には至らなかった。 | | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない | 関係機関との連携体制を構築し、就業率・定着率の早期向上を図るためには、市の積極的な関与が必要である。 |
| 有効性 | 成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない | 事業所や学校には参加しやすい環境を整え、参加者を増やすことで成果が向上する。 |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない | 必要最小限の経費としている。 |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である | 市内在住または市内事業所の就業者、市内事業所を希望する人、市内全事業所・高校・大学等を対象としていることから、受益機会は均等である。 |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | | |
| 研修事業や市内事業所説明会への参加者からの反応は悪くないため、開催時期や時間などを工夫することで参加者の増加が見込まれる。 特に、高等学校教員の理解を得ることにより開催校数を増やすことが可能となるため、高等学校教員への働きかけも必要である。 研修事業については、市内事業所のニーズをとらえ充実した内容を提供し、参加者増加を目指していくことが必要。 さらに参加者や参画する高等学校の増加を目指し、働きかけをすすめていきたい。 | | |

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 中島晴俊 内線 388

(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|----------|
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154050 | 職業人材育成事業 |

単位：千円

| | | 29年度 決算額(A) | 30年度 決算額(B) | 31年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------------------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 465 | 2,428 | | 1,963 |
| 財 源 内 訳 | 国・県 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 465 | 2,428 | | 1,963 |

| |
|----------|
| ※特定財源の内訳 |
|----------|

| | | | |
|------|-----------------------------|------|-----------------|
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|-----------------------------|------|-----------------|

部重点施策における目標

雇用の確保や定着率の向上に加え、多様な働き方への支援を通じ、市内企業の雇用環境を充実します

事業開始の背景・経緯

若者の地元定着と地域労働力の減少が懸念されていることから、市内高校生・大学生の地元企業への就業率・就業定着率の向上を図るため、関係機関等との連携体制を構築し、就業促進・定着促進事業を実施する。

事業概要

- 関係機関等の連携体制の構築
- 合同研修事業
就職後3年目までの就業者を対象としたマナー、コミュニケーション能力向上等に関する研修会の開催
- 職業人材就業促進に向けた取組<新規>
高校、専門学校、大学の生徒、学生やその保護者及び教職員を対象としたマッチングや市内事業所見学などの実施

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

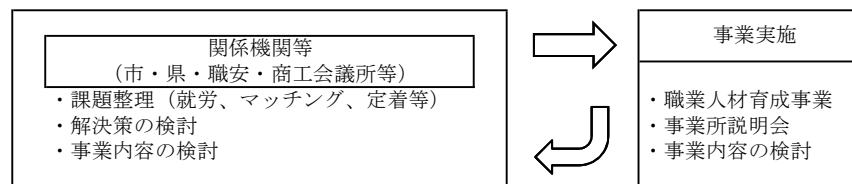
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 1 関係機関等の連携体制の構築（0予算事業）
 - ・就業者の定着支援を目的とした関係機関との情報交換の場を設定
 - ・課題と解決策の検討のほか、下記②、③の内容検討及び実施後の検証
 - 2 職業人材育成研修会事業 695千円

【対象】 就業後3年未満の若年労働者

【内容】 ビジネスマナー・コミュニケーション・経理などの講座

【実施方法】 ジョブカフェいわてを介した事業委託による実施
 - 3 職業人材の就業を促進するための事業 1,733千円
職業人材就業促進業務委託
市内企業への就業率向上を目指し、主に市内出身の生徒・学生の地元定着向上に資する業務（市内企業とのマッチングや市内企業見学会など）を専門的な知見を有する者に委託
- 【業務内容】
- ・市内事業所説明会
 - 【対象】 市内高校生
 - 【内容】 高校の教室を使用し、グループ分けした生徒に各事業所が説明（会社概要、製品、技術等）
 - ・市内事業所見学会
 - 【対象】 市内大学生、専門学校ほか
 - 【内容】 貸切バスを利用し、市内事業所・工場等を学生が訪問（見学）



平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|---|--|-------------|-----------------------|----------------|------------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 | |
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154080 | 地域創業実践推進事業 | |
| 総合計画 | 分野 | しごと | | | | |
| | 政策 | 1-6 雇用環境の充実 | | | | |
| | 施策 | 1 職業人材の育成 | | | | |
| 目的 | 地域における新事業等起業による女性の活躍推進 | | | | | |
| 対象 | 女性起業予定者 | | | | | |
| 意図 | 人口減少社会の中で、結婚・子育てを機に離職し、その後復職を希望する女性の新事業等による起業を推進することで、地域課題の解決及び域内の経済活動の好循環を創出する。 | | | | | |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | | |
| ○新事業創出に向けたワークショップ及び講座開催 ・市内における女性起業予定者を対象に新事業創出に関する普及啓発事業（ワークショップ等）を実施する。 ・さらに、実際に起業を検討する地域住民等を対象に、新事業創出・実践に向けた講座を開催する。 ・こうした取り組みによりM字カーブを解消することで、人口減少化においても地域活力維持を図り、地域住民ニーズに沿ったビジネスによる地域課題解決を推進する。 | | | | | | |
| 市民参画の有無 【 対象外 】 | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | 共催 後援・協賛 | 実行委員会・協議会 補助・助成 | 事業協力・協定 ○委託 | | |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① 事業説明会参加者 | 人 | 計画 | 29年度(実績) | | 30 | |
| | | | 実績 | | 24 | |
| ② 研修の開催 | 回 | 計画 | 29年度(実績) | | 6 | |
| | | | 実績 | | 5 | |
| ③ | | 計画 | 29年度(実績) | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | | 単位 | 区分 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 31年度(計画) |
| ① 研修への参加者数 | 人 | 計画 | 29年度(実績) | | 15 | |
| | | | 実績 | | 13 | |
| ② | | 計画 | 29年度(実績) | | | |
| | | | 実績 | | | |
| ③ | | 計画 | 29年度(実績) | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | | <input type="radio"/> | 概ね目標値どおり | | 目標値より低い |

| | | |
|---|--|---|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | | |
| ワークショップ参加者（目標約30名に対し24名参加）のうち、目標としていたワークショップ参加者の半数以上である13名が連続講座を受講。ワークショップ参加者の半数以上が連続講座を受講した要因については、専門用語を使用せず咀嚼した内容のワークショップを開催したことで、起業・創業について身近なものとして感じたためと分析。また、本講座を受講し、起業・創業に至った事例を紹介することで、講座受講から起業・創業までのイメージがつきやすかったためと思われる。 | | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない | これまでの実績の中で、地域住民ニーズに寄り添った目的となっている。 |
| 有効性 | 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない | 受講者のフォローアップを行うことで、起業者数を増やすことのできる可能性がある。 |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない | 今年度受講者がメンターとして、新事業創出を普及する仕組みづくりが出来上がれば、事業費を削減できる可能性がある。 |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である | 市内全体の求職者を対象としているため、受益機械は均等である。 |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | | |
| 女性創業スタートアップ事業として、ワークショップ及び5回の連続講座を実施。ビジネスアイデアを生み出すワークショップ、商品やサービスを魅力的に伝えるための発信力講座、地域イベントを活用したプロモーション活動など、創業に必要なベースの考え方及び知識とノウハウの習得が行われ起業推進に繋がった。 | | |

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|------------|
| 一般 | 05 | 01 | 02 | 154080 | 地域創業実践推進事業 |

単位：千円

| | | 29年度 決算額(A) | 30年度 決算額(B) | 31年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------------------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | | 1,417 | | 1,417 |
| 財 源 内 訳 | 国・県 | | 500 | | 500 |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | | 917 | | 917 |

※特定財源の内訳
地方創生推進交付金 500千円

| | | |
|---|---|-----------------------|
| 事業期間 | <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定 | [平成 29 年度 ~ 平成 30 年度] |
| 部重点施策における目標 多様な産業の創出と連携を促し、生産性向上による高い付加価値を生み出します。 | | |
| 事業開始の背景・経緯 生産年齢人口減少時代への突入による地域活力低下に対し、新事業創出による女性の活躍を推進し、地域課題・ニーズを拾い上げることで課題解決及び地域経済の好循環を創出する。 | | |
| 事業概要 ○新事業創出に向けたワークショップ及び講座開催 ・市内における女性起業予定者を対象に新事業創出に関する普及啓発事業（ワークショップ等）を実施する。 ・さらに、実際に起業を検討する地域住民等を対象に、新事業創出・実践に向けた講座を開催する。 ・こうした取り組みによりM字カーブを解消することで、人口減少化においても地域活力維持を図り、地域住民ニーズに沿ったビジネスによる地域課題解決を推進する。 | | |
| 意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等） | | |

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 中島 晴俊 内線 284

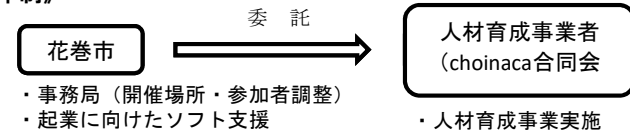
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○新事業創出ワークショップ・講座の実施 1,417千円

| | | (千円) |
|-----|--------------|-------|
| 9節 | 旅費 打合せ 埼玉県1回 | 25 |
| 11節 | 需用費 事務用消耗品 | 79 |
| 13節 | 委託費 開催運営委託 | 1,299 |
| 14節 | 賃借料 会場使用料 | 14 |
| | | 1,417 |

《事業体制》



《事業内容》

- （1）スモールビジネス創出に向けた普及啓発事業
花巻市内に在住する女性、花巻市内で起業を考えている女性を対象に新事業創出に関する普及啓発事業（ワークショップ）を実施した。…24名参加
- （2）スモールビジネス実践のための研修事業
新事業創出・実践に向けた年5回の研修を開催した。…13名参加